

「学生による履修相談会」の記録

近 成 麻 子 (教育学部3年)

葛 城 浩 一 (大学教育開発センター)

1. はじめに

昨年度、大学教育開発センターでは、学生参加による全学共通教育の修学支援システムの構築を視野に入れながら、教職員と学生とのインタラクティブな作業により、「全学共通科目修学案内」（以下、「修学案内」と表記）の全面的な改訂を行った（『香川大学教育研究』第5号参照）。

そこでの成果をふまえ、本年度、「学生による履修相談会」が実施された。教員が主体となっていく履修相談会は、毎年度、入学まもない新入生を対象に実施されており、例年300名前後の新入生が参加する恒例行事となっている。「修学案内」の改訂に引き続き、学生参加による全学共通教育の修学支援システムを構築するべく、これまで教員が主体となってきた履修相談会を、学生との協力体制で行うことはできないものか。

幸いにも、「修学案内」の改訂に中心的に関わった学生を核として、「学生による履修相談会」の企画が提案され、同様の試みを行っている大学への訪問調査、参加学生へのガイダンス等の手続きを経て、2008年4月8日に「学生による履修相談会」が実施された。公式な形での「学生による履修相談会」は本学では初めての試みであったが、十分な成果をあげることができたといえる。本稿は、その一連の過程を記録するものである。

(葛城浩一)

2. 訪問調査

本学が企画している「学生による履修相談会」と同様の取り組みをしている大学は少なくない。そこで本学で「学生による履修相談会」を実施する際の参考とするため、そうした大学への訪問調査を行った。

対象としたのは、国立A大学国際関係学類新入生歓迎委員会と、国立B大学学生・教職員教育改善委員会である。国立A大学には2008年3月17日に、国立B大学には2008年3月19日に訪問し、インタビュー調査を行なった。

これら両大学のインタビュー調査から明らかになったことは、表1にまとめたとおりである。以下では、主要な点についてのみ言及したい。

表1. 訪問調査の概要

質問項目	国立A大学	国立B大学
調査日	2008年3月17日	2008年3月19日
履修相談会に向けての準備とその内容	6月に委員長を決め、様々な部門も同時に立ち上げる。	12月に代表を決め、同時にボランティアを募集する。資料の作成は2月頃から行い、昨年との相違点をまとめる。
組織の構成について	約100名。中心となって活動する学生は30名ほど。	6月に各学部1・2年から1名ずつ選出された計22名。
参加した新生生に対してのアフターケア	履修登録期間締め切りまで相談にのる。	年によって委員会室を開放し、相談にのる。
広報活動(対新生)	入学式後のオリエンテーション。	事前に配布される入学案内に明記されている。
広報活動(対ボランティア)	前委員長が学年全体の講義にて、次の委員長を募集する。	ポスター、口コミ、教員の紹介等。
活動をきっかけとした新メンバー	あり(ほぼ全員)。	あり。
今後の課題について	専門性の強化。	ボランティアの人数を増やすことでサポート体制の強化。
モチベーションを高めるために	昨年の活動を思い出させる。	責任のある仕事を任せ、委員会への帰属意識を高める。
その他の活動	履修サポート部門 チャリツアー部門 オリ合宿部門 等	学生交流WG 授業改善WG システム改善WG 等

まず、「学生による履修相談会」の位置づけである。国立B大学では、「学生による履修相談会」が、教職員と学生が連携して行う大学の公式行事として位置づけられているため、そこで提供される情報は、大学の側からみても適切なものであるといえる。一方、国立A大学では、「学生による履修相談会」は、学生が自主的に行っている活動として位置づけられている。大学側の関与はほとんどないため、「学生による履修相談会」には、学生が作成する「裏シラバス」という、いわゆる「楽勝科目」などが書かれたものがテキストとして使用されたりする。間違った内容を伝えないよう、事前にできる範囲の情報を調べておくという工夫はしているようであるが、そこで提供される情報は、大学の側からみれば不適切なものも含まれるのではないかと考えられる。

次に、「学生による履修相談会」に取り組んでいる学生の構成である。国立A大学の場合は、あくまで自分の意思で参加しているため、委員長の選出が難航することもある。その反面、メンバーは非

常に高いモチベーションを持っているため、どのような履修相談にすれば、新入生の大学への適応に資することができるかということにメンバー一丸となって取り組むことができる。

一方、国立B大学の場合、各学部から「学生による履修相談会」を担当する委員が必ず選出されることになっている。そのため、メンバーが不足することなく、一定数を保つことが可能である。その反面、委員に決まってから相談会当日までには半年ほどあり、それに加えて、必ずしも自分の意思で参加しているわけではないため、モチベーションは下がりやすいものと考えられる。こうしたモチベーションの低下への対応として、国立B大学では、責任のある仕事を任せることで帰属意識を高めるという工夫をしているようである。

両大学の訪問調査から、香川大学では情報の正確性を最優先し、かつメンバーのモチベーションを高く設定しようと考え、「学生による履修相談会」への準備を始めた。

3. 参加学生へのガイダンス

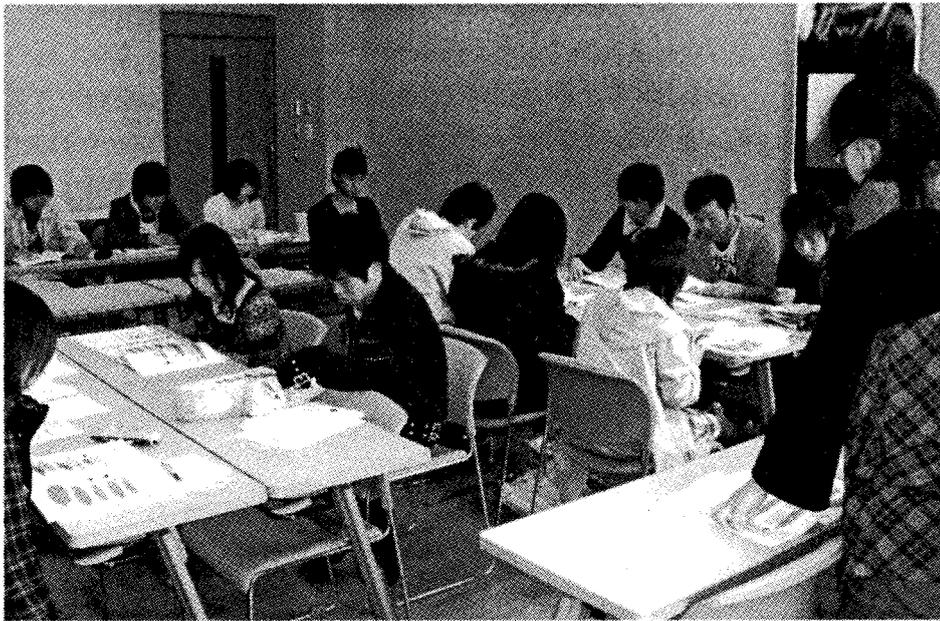
3-1. ガイダンスまでの準備

「学生による履修相談会」が公式な形で行われる以上、提供される情報に間違いがあってはならない。そこで、相談会当日にボランティアで参加してくれる学生に対し、事前にガイダンスを行うこととした。

ガイダンス当日までに、これまでの「履修相談会」で回収された質問事項記入用紙を整理し、新入生からの質問の傾向を調査した。その結果、質問のほとんどが「時間割の立て方について」であることがわかった。こうした「時間割の立て方」についての質問や全学共通教育についての質問は、学部を問わないものであるため、すべて学生で対応できるよう準備を行った。学部によって異なる質問は、学部ごとに集計を行い、教職員へ任せるものと学生で対応するものとに分類し、学生で対応できない質問が来た場合にも、新入生に適切な相談場所を教えることができるよう、ガイド的な役割も果たすことにした。

3-2. ガイダンスの流れ

ガイダンスは、2008年3月30日、4月1日（各10:00～12:00）の2日間にわたって行われた。ガイダンスの流れとしては、まず修学支援グループのスタッフより、前年度からの変更点の確認がなされた後、大学教育開発センターの葛城浩一教員より、全学共通教育の意義やそのカリキュラム内容等についての確認がなされた。その後、予想される質問に対する対応例をいくつか示し、ペアに分かれシミュレーションをするワークショップを行った。そして、対応の仕方などを全体で共有する時間を設け、当日に備えた。また、ガイダンス後も確認が取れるよう、ガイダンスで使用したレジュメ（資料参照）や予想質問集を配布した。



ガイダンスの様子



ペアに分かれてのシミュレーションの様子

4. 相談会当日の様子

相談会の前日には新入生全体のガイダンスがあり、そこでこの相談会についての広報を行った。その結果、翌日の相談会当日には、開始早々多くの新入生が訪れた。「新入生おたすけ窓口」という看板を入口の前に立て、混雑を解消する役目を果たした。事前に組んでいたシフトの通り、常時5名ほ

どの学生が待機し、時間割の立て方や、大学生活への不安を解消していった。

入学したての新生にとって、ほんのささいなことでも不安に感じるであろうが、それを誰に相談すればいいのかもわからないことがある。教職員に質問するのが一番確実であろうが、敷居の高さを感じる可能性もある。同年代の学生が、より質の高い情報を持っているならば、新生にとって心強い存在になりえるのではないだろうか。質問を終え、退出する新生の顔はみな晴れやかであり、十分な手ごたえを感じる事ができた。それは相談会後のアンケートにも表れており、9割以上の新生から高い満足度が得られた。

(近成麻子)



相談会当日の様子

5. e-Learning コンテンツの作成

「学生による履修相談会」の準備が学生たちの手でなされている一方で、新生が一人でも時間割をつくることのできるような e-Learning コンテンツをつくる事が、e-Learning のWGで検討されていた。そこで、大学教育開発センター前調査研究部長である中西俊介教員、大学教育開発センターの松根伸治教員、葛城浩一教員と、「学生による履修相談会」の企画・運営の中心メンバーである近成麻子の計4名で、e-Learning コンテンツの作成を行った。

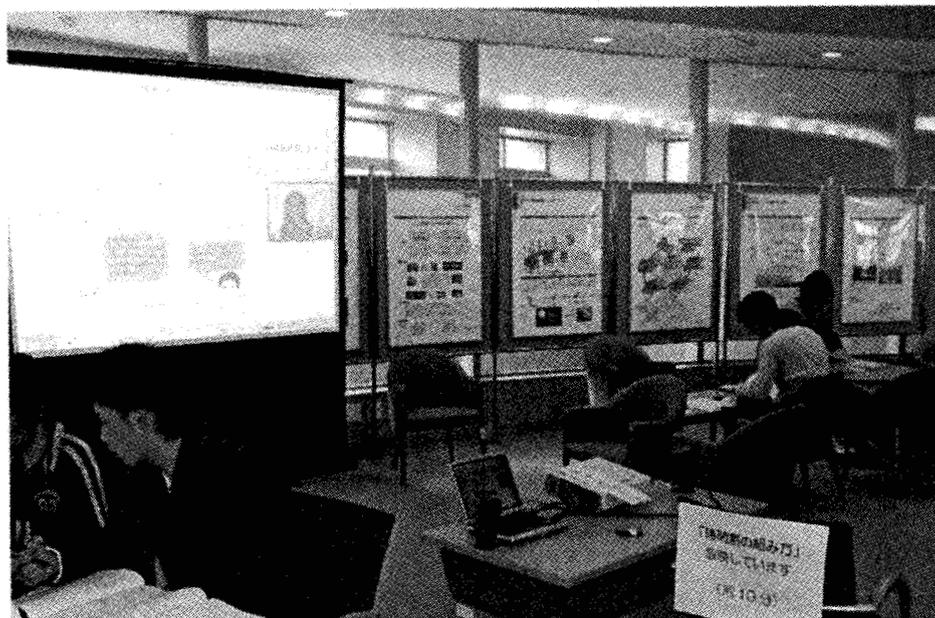
このコンテンツについては、大学教育開発センターのホームページ上から閲覧が可能である (<http://www.kagawa-u.ac.jp/high-edu/>)。当初は、先述のようにウェブ上で掲載することのみを想定していたが、「学生による履修相談会」でも利用することとした。当日は、学生のブースの横にスクリーンを設け、放映を行った。

(葛城浩一)

	月	火	水	木	
1		主題科目		主題科目	共通科目
2	専門 (必修)	外国語 (初修)	専門 (必修)	外国語 (初修)	主題科目
3					教養ゼミ
4	健康 スポーツ				外国語 (既修)
5	共通科目				



コンテンツの一部



相談会で放送している様子

6. おわりに

本年度初めての試みであった「学生による履修相談会」は、概ね成功であったと自負している。しかし、「学生による履修相談会」を今後よりよいものにしていくためには、以下の点についての検討が必要であると考えます。

それは、各学部の専門教育についての質問に対する対応のあり方である。今回の「学生による履修相談会」では、学部を問わない「時間割の立て方」についての質問や全学共通教育についての質問にはすべて学生で対応できるよう、参加学生へのガイダンスも行った。しかし、相談を受けている際、そうした質問だけでなく、各学部の専門教育についての質問がなされることがあった。たとえ相談を受ける学生と入学生が同じ学部に所属していたとしても、年度によってカリキュラム等の内容が異なっている可能性があるため、専門教育についての質問には基本的には対応しないよう注意を呼びかけていた。しかし、親切心からついつい答えてしまっているような場面も少なからずみられた。

今後の方針として、今回と同様、各学部の専門教育についての質問には基本的に対応しないようにするのか、あるいは、そうした質問もある程度視野に入れることにするのか。後者の選択をするならば、全学共通教育と同様に、各学部のカリキュラム内容等についてのガイダンスの必要があると考えます。また、仮にそうしたガイダンスを行う場合においても、どこまでの質問を学生が対応するのかについての線引きを明確にしておく必要がある。そうした検討を十分に行うことによって、これに参加する新生だけでなく、対応する学生や教職員の三者にとって有意義な履修相談会にしていくことができるものと考えます。

(近成麻子)

平成 20 年 3 月 31 日 & 4 月 1 日
場所 研究交流棟 6 階 第 3 会議室
進行 ミントス

新入生対象ガイダンス研修会

1. はじめに

本日はお集まりいただき、ありがとうございます。この研修会の目的は 2 つあります。ひとつは実際のガイダンスで、新入生からの質問に正しく答えられるようにするため。もうひとつは、自分たちが新入生のとき、どんなことが不安だったのか出し合い、その解決策を共有するためです。

皆さんで協力して、新入生の不安を少しでも取り除いてあげましょう！よろしくお願ひします。

2. 会の概要

日付：4 月 8 日（火）

時間：9 時～17 時

場所：研究交流棟 5 階 研究者交流スペース

この日程で、教職員によるガイダンスが行われます。私たちはその一角を使わせてもらい、「先輩学生の視点」で、新入生の質問に答えていきます。

- ・時間割の立て方はこれでいいのかなあ
- ・これって先生に聞くほどのことでもないかも…
- ・大学生ってどんな感じなんだろう…

…などなど、新入生の抱えている不安・疑問を解決するのが私たちの役目です！みなさんには新入生が大学生活の第一歩を踏み出せるようアドバイスをしてもらいます。

3. 本日の日程

10:00		開始
	ミントス	会の概要
10:05	教員	修学案内～p5までの説明（全学共通科目の理念）
	ミントス	修学案内p6～からの説明（どこになにがあるか）
	事務	H20年度入学者用の変更点
10:35	ミントス	予想される質問に対する対応例（3つ／30例） ・時間割の立て方がわからない！編 ・明日からどうしたらいいの？編 ・大学生って何しているの？編
10:50		質疑応答
11:00		ワークショップ 学生同士で、予測される新入生からの質問を考える。またその解決策を共有する。
12:00		終了（予定）

4. 当日の流れ（p3参照）

- ・当日は、担当時間の（ ）分前までに、研究交流棟5階に来てください。
- ・着いたら名札を付けてもらいます。
- ・新入生が来たら「こんにちは～何学部？」など明るく声を掛けます。
- ・「今日はどうしたの？」と質問を聞き、どこに案内するか決めます。

こちらで答えられる内容の場合⇒席に案内し、話を聞く。最後にはアンケートを書いてもらう。（詳しくは「予想質問集」にて）またミントスのチラシを渡す。

専門的な内容の場合⇒各学部の先生、もしくは大教センターの方へ案内する。ただし「ここでは学生がやっているから、もしよかったら後で来てね」と声をかける。

- ・新入生ひとりにかかる時間は原則（ ）分とします。後ろに次の新入生が質問に来ていて、話が盛り上がっていた場合は「この上（6階）にキャリアカフェっていうところがあるから、そこでも話ができるよ」と誘導します。（6階にも何人が待機しています）

5. 注意点

- ・服装は自由ですが、あまり華美にならないようお願いします。(さわやかに！)
- ・新入生に対し「楽勝科目を教える」「サークルへの勧誘」等の行為は原則禁止とします。ただし6階のキャリアカフェにおいてはその限りでないとしませんが、新入生が困ってしまうような行動はやめましょう。「勧誘」ではなく「紹介」にとどめておいてください。
- ・特定の個人・団体（サークル）への誹謗中傷はもちろんダメです。(書くまでもないですが、「あの先生嫌い・むかつく」「あのサークルは飲み会ばかりでしんどいよ」などなど)

6. おわりに

この「新入生対象ガイダンス」は、MINtS（ミントス）という組織が企画しました。これはキャリアカフェを拠点に、低学年次の学生を支援しよう！という集まりです。早い話が経済ゼミ連の1・2年生版といったところでしょうか。でもみんなそんな難しく考えていなくて（苦笑）。私たちは「なんか他の人とは違うことしてみたいな」って人の集まりなんです。それで誰かの役に立てるんなら、うれしいですよ。

今回のこの企画も、みんなで集まって話している間に「じゃあ、やってみようか」と決まったものです。簡単に決まったはよいものの、初めてのことばかりで、いろいろな方にご迷惑をかけてしまいました（えへへ）。ですが「新しいものを作り上げる」喜びは、あきらめてしまったときの楽しさとは比べ物になりません。関係者のみなさん、申し訳ないですが、もう少しお付き合いください。正直なところ、不安で仕方ありません。しかし同時にわくわくもしています。皆さんとこの「わくわく」を共有できたら、と思います。そして、新入生が安心して新生活を迎えられるよう準備を整えましょう。

いい会になるには、皆さんのご協力が必要です。どうぞよろしくお願いいたします。そしてもしわたしたちの活動に興味を持ってくださった方は、仲間になっていただけると嬉しいです♪

MINtS 代表 教育学部2年（新3年）近成 麻子

連絡先

tel

またはキャリアカフェまでお気軽にどうぞ★

★ Thanx a Lot! ★

香川大学 先生方・事務の皆さん・ミントスメンバー

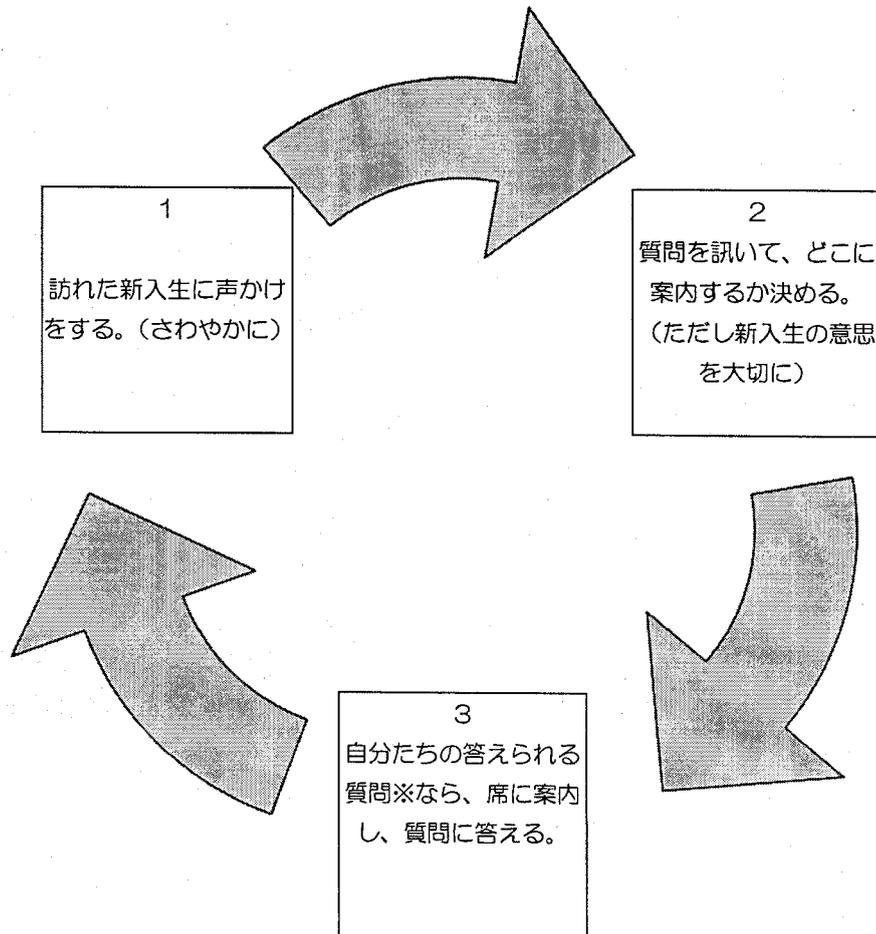
大学 学生・教職員教育改善委員会の皆さん

大学国際関係学類 新入生歓迎委員会の皆さん

そして何よりお手伝いしてくださる皆さん！

本当にありがとうございます！

付記 当日の流れ (イメージ)



※自分たちで答えられる範囲というのは、別紙「予想質問集」を参考にしてください。

取得できる資格やカリキュラムについて、間違った知識を伝えてしまうことが一番怖い
です！専門的な内容(自分の学部・学科と違う)になったら、各学部の先生に任せましょ
う。(ただしそういった質問があったことは、記録として残しておいてください)